

第三回スポーツマネジメントセミナー
優勝パレードで地域を盛り上げる

【主催】 スポーツコミッションせんだい

【共催】 一社)スポーツ・ラボ仙台

【協力】 河北新報社

【日時】 2026年3月13日(14:00～)

第一章 優勝したらパレード？

「誰が？」 「どうやって？」

1. 優勝パレードの可能性を考え始める

- セ・パ交流戦2位
- 首位で折り返し→初V？
- 「初Vへエール募集」の社告（8月8日付河北新報記事）
- 球場増席の記事
- M2 8点灯(8月29日付)

2. 優勝パレードをいつから話題にしたか？

- ・優勝したらパレードってやるよね！
- ・パレードってどうやるんだ？
- ・課題抽出を事務局団会議で（8月13日）
- ・楽天優勝応援委員会・準備会（8月30日）

3. 優勝パレードって、どんなもの？

- 一応、優勝パレードを話題にしたことがあった
- 2009年札幌視察・・・日ハムの例
- 資料をもらっていた

4. 優勝パレードを実施するための 連合体を組織

- 楽天野球団との交渉、パレードコースの選定、演出、警察との協議、警備計画、スタッフ人員集めと管理、資金集め、広報など
- 多岐にわたる業務を短期間に設計し、資源を確保、コントロールする実働部隊はどこが？

第二章 優勝決定までの準備

1. 9月の動き

- 9月 2日 楽天イーグルス優勝応援委員会 設立総会
- 9月 3日 事務局会議
- 9月10日 企画運営委員会① 【議題】ポスター、PV、協賛、コールセンター設置
- 9月12日 「優勝パレード基本計画書」を検討
- 9月17日 企画運営委員会② 【議題】警備計画、優勝決定後について
- 9月18日 宮城県警と打ち合わせ
- 9月20日 楽天野球団(池田副社長)と協議
- 9月25日 企画運営委員会③ 【議題】応援委員会第2回総会対応
- 9月26日 Kスタ、国分町でPV、「リーグ優勝決定」
- 9月27日 宮城県警と打ち合わせ

2. 地元気運の醸成を図る

- 優勝が決まる前に「パレード実行委員会」を名のるわけにいかない。でも、必要な作業に手を付けなければ間に合わない。
- 優勝を目指すチーム・球団を地域が後押しする機運醸成のための組織的活動をしよう。

3. 優勝応援委員会の設立

- ・ 9月2日に設立総会・・・規約、人事案
- ・ パレードの実施主催者の決定と事務局活動が実質スタートした

4. パレードコースの検討

- 2010年に事務局で検討した案
- 「基本計画書」「見積書」「協賛案内書」
を事務局で検討（9月12日）

5. 企業協賛のセールス…配布資料

- 締め切りを11月10日と想定
- 協賛企画書作成、9月26日から打診開始
- 10月4日から正式セールス
- 楽天野球団と楽天スポンサーの広告会社へ企画書をわたす
- 結局、大半は河北新報で
- 11月12日にメドついた

6. 個人協賛の募集…配布資料

- 振込口座の準備
- 振込手数料なしの口座
- 広報も、街頭でも、球場でも
- 最後の4日間で急増

7. 広報の仕方、メディア対応

- ・パレードを全国に伝えることは東日本大震災の被災地状況を伝えることになり、やれることはすべてやるべきだ
- ・警察との協議中は詳細を漏らせない
- ・でも、

第三章 リーグ優勝決定から パレードまで (9月26日～11月24日)

1. 規模とコースを巡って 宮城県警と協議

- 札幌の例から10万人の計画
- 20万人対応でと
- 東二番町通を

2. 10月4日に記者発表

- パレード計画のやり直し
- 9月27日に警察の了承
- 10月2日に企画運営委員会で確認
- 10月4日パレード実行委員会で承認
- 10月4日記者発表

3. ボランティアスタッフは公募しない

- ・実行委員会関係団体から
- ・総勢 2, 200 人

4. テレビ中継とメディア対応

- 在仙テレビ局と
- 楽天野球団と
- 東北スポーツ記者会と

5. パブリックビューイング

- ・パ・リーグ優勝決定 9月26日に
- ・日本シリーズ第6戦、第7戦で

6. 交通、通信会社の対応

- ・臨時列車、車両追加・増発
- ・駅の一部出入口閉鎖
- ・電話の増強

7. 実施運営マニュアルなどの準備

- 運営マニュアル・・・152ページ
- 当日スケジュール
- 隊列

- ・パレードの実施に当たっては、「**楽天優勝パレード**」実施運営マニュアルを作成し、パレード運行計画表を作成した。これとは別に当日の詳細なスケジュール表も準備した。

- ・ **出発式**・・・10:50～11:00 **パレード**・・・11:00～11:30
- ・ 仙台商工会議所前～五ツ橋交差点 **全長約1.5km**
 - ＊ 1 m²に4人＝収容人数**17.2万人**＊ 1 m²に6人＝**24.2万人** 【最大収容人数】
- ・ パレードコースは、広瀬通で順行から逆行に変更。
片側3車線をパレード通過コースにして残り車線（対向車線全部と）と歩道(一部)を観客席とする。
- ・ 「**インフォメーション(救護)**」をコース上に4カ所、仙台駅2Fに設置
- ・ パレードスタンバイエリア（定禅寺通りから会議所前、110m）
- ・ **隊列全長**：約200m～210m、**隊列幅**：最大8m
- ・ パレードの各車両横に「車両帯同警備員」を配置

- ・パレード速度は約4.8km/h

- ・パレードの順番：

- ①先導パトカー ②中継車 ③タイトル横断幕
- ④ブラスバンド(県警32名) ⑤協賛社横断幕、楽天マスコット
- ⑥楽天チア ⑦協賛社横断幕
- ⑧～⑫オープンカー5台 ⑬協賛社横断幕
- ⑭伊達武将隊(5人) ⑮協賛社横断幕
- ⑯～⑳オープンバス5台 ㉑ブラスバンド（市消防42人）
- ㉒ゆるキャラ（5体） ㉓最後尾パトカー

- ・ **交通規制は9:30～12:00** 東二番丁通及び関連道路・渋滞解消
予想時間：規制解除後2時間
- ・ パレード当日、5:00判定会議①、以後一時間ごとに7:00③まで
- ・ **案内誘導・警備関係要員2,089人演出・進行・運営関係212人**
- ・ 控室確保26カ所（商工会議所、市役所、河北新報社、市民広場、五橋公園）
- ・ 混雑が予想されるアーケード商店街（おおまち商店街、クリスロード商店街）に事前に混雑状況を想定した放送原稿を準備

- 8. 企業および個人協賛の動き
- 9. 沿道人数、主催者発表の計算方法
- 10. 紙吹雪
- 11. 経済波及効果
- 12. パレードを終えて・
 - ・ ・ ・ ゴミがなかった！
- 13. 今後の課題

11. 経済波及効果

- 東北楽天のパ・リーグ制覇が宮城県にもたらす経済効果
→関西大学大学院の宮本教授（理論経済学）は229億5900万と試算した。チームが日本一に輝いた場合は、271億5500万円に拡大すると分析している。
- 優勝セールをはじめとする商業の販売増加額は、他球団の実績などを踏まえて前年同期比3%増の99億7500万円と算定。優勝パレードによる消費額も、延べ10万人の参加で6億7300万円と推測した。
- 実際には21.4万人の参加だった、・・・

12. パレードを終えて

- 12月5日、実行委・鎌田会長が記者会見で、開催御礼を述べるとともに、個人協賛金受付状況や記念バッジ発送などが発表された。
- 年度末の2014年3月28日、優勝パレード実行委員会の第4回総会が開催され、事業報告と決算が発表されて、実行委員会が解散した。→決算報告
- • • ゴミがなかった！